

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|---|---|
| 福岡県 | <p>藍島盆踊(北九州市小倉北区)</p> <p>※北九州市無形民俗文化財</p> <p>ひびき灘漁業協同組合藍島支所 TEL : 093-751-1550</p> <p>URL : http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kokurakita/file_0103.html</p>  | <p>小倉港の北西約 14 キロメートルの海上、響灘に浮かぶ藍島に伝承されている盆踊り。樽と太鼓と三味線の勇壮な曲によってリズムカルに踊るこの盆踊りは、関門地方に同種のものが数多く分布している。</p> <p>輪の中心に樽をすえ、太鼓 2 個と樽 1 個、三味線に合わせ、音頭取りの口説歌で輪踊りをする。踊りの所作は総体的に大振りである。この踊りの特徴は、1 人の太鼓打ちが大小 2 個の太鼓と樽 1 個を組み合わせて打つところにあり、その豪快な響きに海の男の心意気があらわれている。毎年盆の 8 月 14、15 日と同月 24 日の地蔵盆の日に渡船場で踊られている。(以上：北九州市 HP より転載) 市指定無形民俗文化財（昭和 58 年（1983 年）2 月 21 日指定）</p> |
| | <p>和布刈神事（北九州市門司区）</p> <p>和布刈神社 TEL : 093-321-0749</p> <p>URL : http://www.city.kitakyushu.lg.jp/moji/file_0075.html</p>  | <p>和布刈神事は神功（じんぐう）皇后 [4 世紀後半頃の伝説的人物で仲哀（ちゅうあい）天皇の皇后] が三韓征伐 [神功皇后の馬韓・弁韓・辰韓征伐の物語] からの凱旋を祝って、自ら神主となり、早鞆の瀬戸のワカメを神前にささげたという古事に由来している。昔は「神事を見ると目がつぶれる」と言われ、神罰を恐れて拝観する者はいなかったが、戦後から拝観は解禁となっている。行事は、毎年旧暦元日の早朝に行われている。横代湯立神楽（よこしろゆたてかぐら）が奉納された後、3 人の神職が干潮の海に降りて鎌でワカメを刈りとり、それを神前に供えて航海の安全、豊漁を祈願する。漆黒の闇を背景に烏帽子、狩衣、白足袋に草履姿の神職たちが、松明を頼りにワカメを刈り取る様子は幻想的で、関門海峡兩岸の人々に春の訪れが近いことを感じさせてくれる。(以上：北九州市 HP より転載)</p> |

伊 予 灘

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|---|--|
| 愛媛県 | <p>青島の盆踊り（大洲市）</p> <p>※愛媛県指定無形文化財</p> <p>大洲市役所長浜支所地域振興課 TEL : 0893-52-1111</p> <p>URL : http://www.city.ozu.ehime.jp/life/facilities/ken_aoshima.html</p> | <p>青島の盆踊りは、長浜の沖合に浮かぶ青島で、8 月 14・15 日の両日、夜を徹して演じられる盆踊りである。</p> <p>青島はもともと馬島、またの名は沖水無瀬島といい無人島であった。寛永 16 年（1639 年）、播磨国坂越浦（現兵庫県赤穂市坂越）の与七郎という者が、一族など 16 戸を率いて移住して、以来望郷と無聊の生活を自ら慰めるために、毎年 8 月 14・15 日に氏神(坂越神社の分身)の前で踊り明かしたのがはじまりと伝えられている。</p> |

| 府県名 | 海文化（伝統行事名） | 伝統行事の内容 |
|-----|---|---|
| |  | <p>現在は、13日に「賤ヶ岳七本槍」の装束で魚の供養としての大漁踊りを、14日に「赤穂四十七士」の装束でその年に亡くなった人の霊を慰める亡者踊りを、それぞれ行っている。踊りの種類には「白石踊り」「三つ拍子」「きりあい」「いなおさえ」「笠踊り」「綱ひき」「木山踊り」などがあり、全体的に赤穂の郷愁を感じ起こすような出し物や演出が多い。昭和40年（1965年）4月2日に県指定無形文化財に指定されている。</p> |
| 大分県 | <p>ヨーヤラ（大分市）</p> <p>ヨーヤラ船保存会</p> <p>大分市教育委員会文化財課 TEL 097-537-5639 E-mail: bunkazai@city.oita.oita.jp</p>  | <p>正月十日に豊漁祈願のため、恵比寿さまのお祭りを2年おきに行う。きれいに飾られたヨーヤラ船の舳先でふたりが踊り、他の者は八挺櫓をこいで港近くの海を3回まわった後、船を岸壁につけて餅まきをする。踊り手は恵比寿様と大黒様に扮し、太鼓の音に合わせて「ヨーヤラ」と掛け声を上げて踊る。</p> |
| | <p>夏越祭り「潮汲み」（大分市）</p> <p>柞原八幡宮</p> <p>TEL 097-534-0065</p>  | <p>柞原（ゆすはら）八幡宮の夏越（なごし）祭りを締めくくる行事である。神輿が出て行列を組んでおくだりをし、西大分の港で海水を汲んだ桶に榊を浸し、海難事故防止を祈願し、四方に撒き清めをおこなう。例年、8月2日に開催される。</p> |